平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	下水道総務費

所管課	162	下水道課	（水道局）

宇陀市下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	1	下水道費
目	1	下水道総務費
細目	1	下水道総務費

事業の目的

●下水道展開催
　下水道のしくみや役割を知ってもらうため、市内小中学校に作品を募集、宇陀川浄化センターと協力し応募された作品を展示する。
●大和川上流・宇陀川流域下水道建設負担金
　奈良県が行う、国庫補助事業の補助裏負担分と、県単独事業の合計額のうち1/8を宇陀市が負担する。
●会計システム等作成委託
　平成32年度の法適化に伴う会計システム等作成委託料。

根拠条例等	下水道法31条の2（市町村の負担金）
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

【主な事業】
職員人件費（1名分）　8,712千円
下水道展開催経費　72千円
大和川上流・宇陀川流域建設負担金　16,398千円
委託料（夜間当直）　900千円
水道局庁舎電気代　597千円
日本下水道協会等負担金 130千円
繰出金(県支援事業に伴う一般会計への起債繰上償還負担分)
6,183千円
経営戦略策定委託料　2,000千円
会計システム等作成委託料 10,000千円

事業の目標・成果
（これまでの成果，今後の見通し）

●目標
　下水道展を通じ下水道に対する理解と関心を深め、下水道の普及と活用を促進する。
　また、大和川上流・宇陀川流域下水道事業にかかる幹線管渠の整備や処理場施設の整備を年次的に行い、施設の長寿命化を図る（県事業に対する市負担金）。
　平成32年度の法適化に伴い会計システム等の作成を行う。
　経営戦略を策定し持続可能な下水道事業の経営を目指す。
●大和川上流・宇陀川流域下水道建設負担金（処理場施設の整備）
（国庫補助金−国庫負担金）×1/8
（219,386,262円−88,204,718円）×1/8＝16,397,693円

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	26,300
その他	
一般財源	18,893
H30予算額	45,193
H29 当初予算額	43,838
H29 現計予算額	43,838
増減額	1,355

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	17,157	39,984
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	17,157	39,984
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	供用区域面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	722 単位 ha	722 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	23,763	55,380

特定財源の状況

流域下水道事業債　16,300千円
公営企業会計適用債　10,000千円

備考

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	下水道管理費

所管課	162	下水道課	（水道局）

宇陀市下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	1	下水道費
目	2	下水道管理費
細目	1	下水道管理費・公共

事業の目的

●維持管理費
管渠、マンホール、中継ポンプ及びマンホールポンプ場等の下水道施設が正常に運転できるように点検及び維持補修を行うと共に新規あるいは改築された宅内配管の検査を行う。
●流域下水道維持管理費等負担金
宇陀川浄化センターでの処理経費に係る費用等を、有収水量により算出し、県に支払う。

根拠条例等	宇陀市下水道条例
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

主な事業
職員人件費（2名分）　19,830千円
維持管理経費　59,197千円
修繕費　9,000千円
流域下水道維持管理費等負担金　119,500千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●目標
定期的な保守点検や計画的な補修により、維持管理費の増大を緩和する。
●30年度の主な修繕箇所
・第一中継ポンプ場　受変電設備修繕
・マンホールポンプ場　計装盤修繕×2基
・マンホールポンプ場　ポンプ及びフロート修繕
・鉄蓋交換修繕
・緊急修繕
●雨水幹線の維持管理を通じ雨水排水の機能確保に努める。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	171
一般財源	207,356
H30予算額	207,527
H29 当初予算額	217,069
H29 現計予算額	217,069
増減額	▲ 9,542

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	229,245	209,839
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	229,245	209,839

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	供用区域面積					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	722	単位	ha	722	単位	ha
単位当たりコスト　（円）	317,514			290,636		

特定財源の状況

手数料　151千円
雑入　20千円

備考

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	第2中継ポンプ場改築更新工事

所管課	162	下水道課	（水道局）

事業の目的	第2中継ポンプ場の長寿命化計画に基づき、改築更新工事を計画的に実施し、施設の長寿命化により、管理費の抑制を図る。

宇陀市下水道事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要	「社会資本整備総合交付金事業（国交省）」 H30年度の事業費　4,000千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	●目的 地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施する。 ●成果 既存施設の長寿命化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	2,000
県　費	
市　債	2,000
その他	
一般財源	
H30予算額	4,000
H29 当初予算額	38,000
H29 現計予算額	38,000
増減額	▲ 34,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	6,325	24,002
従事職員数【人工】	0.15	0.25
人件費（人工×8,000千円）	1,200	2,000
総事業費：人件費含む（千円）	7,525	26,002

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	4	単位	%	22	単位	%
単位当たりコスト　（円）	2,090,278			1,192,752		

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金
2,000千円
公共下水道債　1,000千円
過疎対策事業債1,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(3)下水道施設の維持補修及び改築更新を中心とした事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	下水道ストックマネジメント計画策定

所管課	162	下水道課	（水道局）

宇陀市下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目	1	公共下水道・補助

事業の目的

老朽化が進んでいる下水道施設全体のストックマネジメント計画を策定し市内全体の下水道施設を計画的に改築更新を実施し、管路・ポンプ施設等の長寿命化及び不明水を排除することにより、管理費の抑制を図る。

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

「社会資本整備総合交付金事業（国交省）」

全体計画の概要
ストックマネジメント計画策定　10,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●目標
老朽化が進む施設全体のストックマネジメント計画を策定し、整備を計画的、効果的に行うことにより下水道施設の長寿命化を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	5,000
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	5,000
H30予算額	10,000
H29 当初予算額	52,750
H29 現計予算額	70,750
増減額	▲ 42,750

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	33,680	62,488
従事職員数【人工】	0.38	0.54
人件費（人工×8,000千円）	3,040	4,320
総事業費：人件費含む（千円）	36,720	66,808
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	35 単位 %	55 単位 %
単位当たりコスト　（円）	1,049,143	1,214,691

特定財源の状況

社会資本整備総合交付金　5,000千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[生活基盤の整備]
(3)下水道施設の維持補修及び改築更新を中心とした事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	公共下水道建設費（事務費等）

所管課	162	下水道課	（水道局）

宇陀市下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	下水道費
項	2	公共下水道建設費
目	1	公共下水道建設費
細目		

事業の目的

第2中継ポンプ場改築更新工事、下水道ストックマネジメント計画策定に伴う事務費。

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要

人件費（2名分）　18,800千円
需用費　200千円
計　19,000千円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

●目標
地域の実情に応じた下水道施設の整備を計画的に実施すると共に事故の未然防止及びライフサイクルコストの縮減を図ることを目的に施設の健全度点検調査により更新計画を策定し、安心・安全な生活環境を確保する。
●第2中継ポンプ場改築更新工事
●下水道施設の長寿命化を図るためストックマネジメント計画を策定する。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	200
その他	
一般財源	18,800
H30予算額	19,000
H29 当初予算額	19,404
H29 現計予算額	19,404
増減額	▲ 404

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	18,188	19,404
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	18,188	19,404
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	供用区域面積	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	722 単位 ha	722 単位 ha
単位当たりコスト　（円）	25,191	26,875

特定財源の状況

公共下水道事業債　200千円

備考

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 下水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	公債費（元金・利子）

所管課	162	下水道課	（水道局）

宇陀市下水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	公債費
項	1	公債費
目		
細目		

事業の目的	起債償還金（元金・利子）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第4節　上下水道の整備

H30年度事業の概要	
	（元金償還額） 公共下水道事業債　248,697千円 流域下水道事業債　19,371千円 特定環境保全公共下水道事業債　28,918千円 資本費平準化債　109,223千円 過疎対策事業債　1,721千円 公営企業会計適用債　4,060千円 特別措置分　2,382千円　元金計　414,372千円 （利　子）　74,907千円 （一時借入金利子）　1千円　総合計　489,280千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	112,500
その他	
一般財源	376,780
H30予算額	489,280
H29 当初予算額	527,439
H29 現計予算額	527,439
増減額	▲ 38,159

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	555,033	522,283
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）	555,033	522,283

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	整備区域人口					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	19,426	単位	人	18,935	単位	人
単位当たりコスト　（円）	28,572			27,583		

特定財源の状況	
資本費平準化債	90,000千円
下水道事業債特別措置分	22,500千円

備考	